



合志の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和 8 年 7 月 1 0 日 (金) No 1 4 発行
文責：松本 卓也

「主体的・対話的で深い学び」を確かなものに ～小中一貫教育 授業公開～

合志市では、義務教育 9 年間を通して連続性・一貫性・発展性のある教育活動を展開するために、市内すべての小・中学校を対象として小中一貫教育研究推進校を指定し、児童・生徒の資質・能力の育成を目指しています。合志中学校区は、令和 7 年度から令和 9 年度までの 3 年間、推進校に指定されており、次年度に予定している「教育活動公開」に向け、合志小学校、合志南小学校、南ヶ丘小学校の先生方と研究と実践を進めています。取組の一環として、1 日 (水)、「合志中校区小中一貫教育授業公開」を各学校 (公開授業 9 本) で行いました。本校の公開授業は、以下の通りです。

学級	教科	授業者	学習課題 (めあて)
1 年 3 組 2 年 2 組 3 年 3 組	学活 理科 道徳	H 教諭 O 教諭 K 教諭	友だちのよい所を伝え合い、今の自分への思いを大切にしよう なぜ、二酸化炭素中でもマグネシウムリボンが燃えたのだろうか 自分で決断したことを実行するために大切なのはどんなことだろうか

20 名を超える小学校の先生方が、合志中の子どもたちの学びに向かう姿を参観されました。その後の分科会 (ワークショップ) では、①「KOSHI 体」の取組*と、②「教科書活用」について、活発な協議がなされました。協議内容は以下の通りです。※裏面をご覧ください。

学活	① (小学校では) 1 分前黙想は、ほとんどの児童が意識している。 休憩、授業の切り替えがしっかりできている。 中学 1 年生はとても大きな声で唱和するが、学年が上がるとトーンダウンしている。	
理科	②教科書の資料を読み取る力をつけている。 教科書を活用することは絶対であると思うが、教科によって難しいところもある。(何をもちて教科書活用なのか)	
道徳	①失敗・間違いに対して寛容な雰囲気がある。 発表者を意識できず、私語をする子どもがいる。 ②まとめ、確認で自分が理解できていないところを探させる機会となっている。 自主的な思考を止めないためにも、教科書を使用するタイミングを考えていかなければならない。	【教科書活用】

今年 3 月に、「令和 7 年度熊本県学力・学習状況調査における課題の改善に向けた重点指標及び重点取組について」が熊本県教育委員会から通知されました。課題の改善に向けた重点取組として、令和 8 年度は、教科書を使いこなすことと、学習用語を理解することで、『読み解く力』を高めることが掲げられました。

各分科会で協議した内容をもとに、本校区の研究テーマである「『主体的・対話的で深い学び』のある授業改善を目指して」のもと、さらに共通実践を進めてまいります。ご参加下さった小学校の先生方、主体的に授業を引き受けられた本校の 3 名の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



1 年学活



2 年理科



3 年道徳



中 2 分科会 (ワークショップ)

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()

【KOSHI体】の取組とは？

合志市では、幸福で明るい笑顔あふれる未来を創造するため、「志合わせて夢実現プロジェクト」に取り組んでいます。

1	My プロジェクト	児童会や生徒会など子どもたち自身に取り組む
2	Home プロジェクト	PTA（家庭）が中心に家族みんなで取り組む
3	School プロジェクト	小中学校が連携しながら学校全体で取り組む
4	Community プロジェクト	地域の皆さんが連携して取り組む
5	Koshi City プロジェクト	市職員など行政に携わる方が中心となって取り組む

この中の「School プロジェクト」を実現するために、合志中学校区では令和 3 年度から取組を始めました（令和 3 ～ 5 年度第一次研究推進校、令和 7 ～ 9 年度第二次研究推進校）。合志中学校区の 4 つの学校が、各学校の特色ある教育を大切にしつつ、共通実践事項を設定して実践を積み上げています。「KOSHI 体」は、当時の生徒会の子どもたちと先生方で①主体的に学ぼうとする姿づくりと、②授業に集中できる環境づくりを目指して設定されました。子どもたちは、朝から唱和し、“自分たちが授業を創る！”ことを意識しながら日々の授業で取り組んでいます。



授業を「K O S H I」体！

教科書準備、しっかりと！

（場や相手に）**応じた声で**、あいさつ・発表！

失敗・間違い、大切に

人の**目**を見て、**話を聴こう！**

1分前黙想、しっかりと！

